第35回東職ランチョンセミナー

紛争地を生きる子どもたち

講師　安田菜津紀氏

『講師紹介』

1987年神奈川県生まれ。studio AFTERMODE所属フォトジャーナリスト。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、カンボジアを中心に東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で貧困や災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。「HIVと共に生まれる -ウガンダのエイズ孤児たち-」で第8回名取洋之助写真賞受賞。写真絵本に『それでも、海へ　陸前高田に生きる』（ポプラ社）、著書に『君とまた、あの場所へ　シリア難民の明日』（新潮社）。『写真で伝える仕事 -世界の子どもたちと向き合って-』（日本写真企画）。上智大学卒。現在、TBSテレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。

Photo／安田菜津紀

2018年
1月31日（水）
12：10～13：00（開場11：30）
会場：赤門総合研究棟５階センター会議室

無料・予約不要・弁当持参可。どなたでもどうぞ。

主催：東京大学教職員組合
Tel・Fax:03-5841-7971
syokikyoku@tousyoku.org
https://tousyoku.org/

東京大学には組合があります。
東京大学で働く、常勤・非常勤・パートタイムの教員、職員は誰でも加入できます。

【東職ランチョンセミナー履歴】＊印は史職主催「思想と信条の自由を守る 2.11 集会」と共催

第 1 回　2014 年 3/7「制定前後から見た憲法の今日的問題」石田　憲氏（千葉大法学部教授）
第 2 回　4/4「最近の労働法制改革の動きについて」水町勇一郎氏（東京大学社会科学研究所教授）
第 3 回　5/19「大学研究と公益通報制度」新村響子氏（弁護士/旬報法律事務所）
第 4 回　6/12「大学教育法改正と大学の自治」広渡清吾氏（専修大学法学部教授）
第 5 回　6/23「安倍政権の政策をどう見るか」宇都宮健児氏（弁護士）
第 6 回　7/23「憲法 9 条と現在の政治状況について」小森陽一氏（東大教養学部教授/9 条の会事務局長）
第 7 回　9/25「女性の活躍促進というけれど」大沢真理氏（東京大学社会科学研究所教授）
第 8 回　10/9「原発と火山噴火リスク」中田節也氏（東京大学地震研究所教授）
第 9 回　11/19「軍事と企業技術・大学研究」話題提供者を囲んでの意見交換
第 10 回　2015 年 1/21「急展開する軍学共同」池内　了氏（総合研究大学院名誉教授/宇宙物理学者）
第 11 回　2/12「日本軍『慰安婦』問題をどう考えるか」吉見義明氏（中央大学商学部教授）＊
第 12 回　3/4「八ッ場ダムの長期的安全性は保証されているのか」伊藤谷生氏（千葉大学名誉教授）
第 13 回　4/9「原子力発電所と断層～科学と行政の狭間で」藤本光一郎氏（東京学芸大学教育学部准教授）
第 14 回　5/22「農地除染と地域再生の課題～大学の役割」溝口　勝氏（東京大学農学部教授）
第 15 回　7/13「景色の変化の向こうに見えるもの～災害と開発の歴史」榎原雅治氏（東京大学史料編纂所教授）
第 16 回　9/17「医療事故調査制度～その仕組み構築の難しさ」樋口範雄氏（東京大学法学部教授）
第 17 回 10/7「上野の杜から～自然と歴史環境･憩いのアメニティ空間の危機」小川潔氏（東京学芸大学名誉教授）
第 18 回 11/18「市民・患者と医療者の対話から生まれるもの」孫　大輔氏（医学教育国際研究センター講師）
第 19 回 2016 年 1/15「異次元金融緩和とは何だったのか～アベノミクス再考」伊藤正直氏（大妻女子大学教授）
第 20 回 2/8 「中国の労働組合」高見澤　磨氏（東京大学東洋文化研究所教授）
第 21 回 4/8「歴史学から見た地震・文化～東大で文理融合を実現することは国民のために必要」保立道久氏
第 22 回 5/23「沖縄にはかつていかなる王国があったのか」渡辺　美季氏（東京大学総合文化研究科准教授）
第 23 回 6/10「再生可能エネルギーの系統接続の課題と対策」今中政輝氏（東京大学生産技術研究所特任研究員）
第 24 回 7/20「なぜ原発は NG なのか」岡屋克則氏(東京大学工学部システム創成学専攻助教)
第 25 回 9/16「江戸時代の日本と朝鮮・中国」鶴田 啓氏(東京大学史料編纂所教授)
第 26 回 10/26「わだつみのこえ記念館への期待-開館 10 周年を迎えて」岡安茂祐氏（記念館理事長）
第 27 回 11/30「同一労働同一賃金と働き方改革」水町勇一郎氏（東京大学社会科学研究所教授）
第 28 回 2017 年 1/31「進む軍産複合体～取り込まれる大学、研究者たち」望月衣塑子氏（東京新聞記者）
第 29 回 3/2「日本の大学における軍学共同の歴史―東京帝国大学の事例を中心に―」畑野 勇氏（政治学）＊
第 30 回 5/16「軍事研究禁止の原則◆再確認に向けて　どうする東大!!」佐藤岩夫氏＋須藤靖氏
第 31 回 6/22「育徳園と三四郎池」原 祐一氏（埋蔵文化財調査室）
第 32 回 9/1 「自由が危ない！　共謀罪法の乱用を監視し、廃止するには」海渡雄一氏
第 33 回 9/26「水資源開発と東京オリンピック～利根川に依存する私たちの暮らし」梶原健嗣氏
第 34 回 11/21「福島第一原子力発電所の廃炉の前途」～混迷からの脱出～　佐藤暁氏

すべての有期雇用教職員に対する
5年上限と6ヶ月クーリングを東京大学は完全撤廃しました！
無期転換への道が現実のものになりました。

各部局の人事・採用責任者におかれましては、有期雇用教職員の契約更新上限の無効性を十全にご認識・ご理解の上、雇い止め（契約更新拒否、不当解雇）を行うことの無いよう注意喚起ください。
有期雇用教職員におかれましては、万一不当解雇された場合は地位保全・原状回復の手続を潤滑に行えるよう、今のうちに東京大学教職員組合（東職）へのご加入をお勧めします。

東京大学教職員組合　T&F 03-5841-7971（内線 7971）E-mail: syokikyoku@tousyoku.org